

協働

第2号 2023年9月24日

町田市教育委員会

指導課長 大山 聡

発行：町田市学校支援センター

学校支援連絡会、4年ぶりに開催されました

本年度、学校支援連絡会が7月12日（水）教育センターで4年ぶりに開催されました。開会あいさつでは、大山 聡指導室長兼指導課長から4年ぶりの学校支援連絡会開催の目的、この間の町田市のCS・地域学校協働活動の活動経過報告と共に、地域学校協働本部が全校設置となったねらいについて触れ、

「連携」から「協働」への活動充実のために今後も「つながり」を大切にしていきたいとの願いを話されました。

続いて、町田市の地域学校協働活動について、末原 久志統括指導主事から事業説明、学校支援センターGVCからは、地域学校協働活動推進のため、学校支援センターがVCと協力支援団体をつなぐ、受け止める役割について説明を行いました。また、実現できた豊かな体験活動成果のタイムリーな広報を通して町田市全体にその良さを広げる活動の推進にも触れました。



そして、協力支援団体の紹介。桜美林大学、玉川大学、東京家政学院大学、法政大学、和光大学、町田市商店会連合会、町田市シルバー人材センター、町田市スポーツ推進委員会、町田ゼルビア、町田市地域活動サポートオフィス、JA町田、ペスカドーラ町田、町田市社会福祉協議会、町田市レクリエーション連盟、町田青年

会議所の各団体様より、協働活動のプラン提案なども含めて団体紹介の時間が設定されました。質疑、応答後、小・中学校校長会の担当校長、本町田小学校杉本校長、金井中学校の仙北屋校長よりご挨拶をいただきました。最後に指導課の遠藤課長から、新たなCS・地域学校協働活動充実のため、教育委員会の学校支援センターを活用していただきたいとの挨拶があり、閉会となりました。

閉会后には、各支援団体と各校のVCが名刺交換などの挨拶と共に活発に、新たなつながりを作られておりました。今後の活動につなげる時間となりました。

2023年度 学校支援連絡会を終えて

コロナ感染拡大の影響を大きく受けていたこの間の地域学校協働活動から、大きくそして新たな一步を踏み出すためにと開催した学校支援連絡会でしたので、会の終了後も、連携協力団体と談話していらっしゃるVCの皆さんの姿を見て、この会の意義を再確認することができました。その後、クロームブックでのチャット機能で地区統括VCの皆さんからご意見をいただきましたが、早速、大学やいくつかの連携協力団体と個別に挨拶をしてつながりをもつことができましたという声も多く寄せられました。

また、今後に向けて、「4年ぶりの開催にはとても意義があったという感想に合わせて、とくに、最後の30分で、皆さんが自由に各団体の方々とお話ができたことは、大変好評でした。会後の参加者の様子を見ても、皆さま手ごたえのある会となったのではないかと思います。参加全団体のお話を伺うことができ、実り多かったです。同じ団体でも取り組みを変えていかれる場合もあるので、来年度以降もしばらく続けていっても良いのではと感じました。もっとたくさんの方々の団体の方々をお呼びして、多くの学校とマッチングさせていくと良いと思います。ぜひ、来年度は、形を変えても、より地域学校協働活動につながるよう、ご検討をお願いしたいと思います。」とのご意見もいただきました。このようなご意見を受けて、指導課・学校支援センターとして、来年度にむけての反省と課題をまとめてみました。

<次年度の開催に向けて>

- ・学校支援連絡会は、年度当初に、連携協力団体と学校がつながる重要な事業と位置付けて、6月下旬の実施で指導課予定の中で計画したい。(議会終了後)
- ・前半は全体会、後半は、団体との自由交流会のような形にして、事前に、学校やVCから、招待してほしい団体の希望を募集する。
- ・参加団体からは学校との協働活動で何ができるのかをプレゼンしていただく。
- ・前半の団体紹介の場面には、前年度に各学校で実施した協働活動の写真などがあれば、ポートフォリオとして、具体的な活動場面を紹介していく。
- ・集めた活動場面の画像などについては、ボランティア・コーディネーター全体のクラスルームに投稿し、通年でチェックできる資料にしていく。
- ・参加団体との連携で実施した地域学校協働活動のプログラム・指導計画についても、クラスルームでの共有を図る。
- ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進を進める会議として位置づけ、町田市を目指していく姿について、教育委員会代表・小学校長会・中学校長会からの挨拶の機会を設けていく。